

委員会報告（民生常任委員会）

議第57号 土岐市温泉活用型健康増進施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例

質疑 利用料金の改定が利用者に及ぼす影響は。

答弁 金額についてはあくまでも上限額の改正で、この範囲内で協議し決定していくことになる。

質疑 健康増進施設として今後残していくという方針があるか。

答弁 貴重な地域資源であるので、温浴施設としての役割を今後も果たして行けるよう条件整備をさせていただきたい。

議第58号 土岐市立児童館の設置及び管理に関する条例等の一部を改正する条例

質疑 施設を使用できる者の範囲を、年齢拡充と市内在住を外すという2点を変更したがその趣旨は。

答弁 児童福祉法上の児童が18歳未満であること、また、市内、市外に限らず利用していただき子育て世代に多くの交流を持っていただくためである。

議第61号 東濃中部病院事務組合の共同処理する事務の変更及びこれに伴う東濃中部病院事務組合の規約の変更

質疑 参事を置くメリットは。

答弁 参事を置くことにより運営開始後の課題や協議事項に速やかに対応していけるようにする。

議第65号 令和6年度土岐市一般会計決算の認定 所管部分

質疑 総務費のまちづくり活動支援事業で、執行率が32%と不用額が大きい理由は。

答弁 宝くじの補助金を活用して支援を行う事業が2件しか採択されず他の申請事業が不採択になり、ほかにも補助金の申請が無い事業があったため不用額が増加した。

質疑 コンビニ交付が前年度の途中から始まり17.2%がコンビニ交付となったが費用等想定と比較して、市の考えは。

答弁 コンビニ交付のみの実際の利用率については29.3%で経費については令和6年度約940万円で経費は賄えていないが、利用率の向上に努めたい。

質疑 民生費の子ども貧困対策事業の対象となる子どもの人数は。

答弁 学習支援事業の参加人数は、令和6年度の参加実人数は7人で、延べ94人である。

質疑 重点事業の病児病後児保育事業の令和6年度事業として新病院の病児病後児保育の当該施設設計ができたところだが、その概要は。

答弁 面積は71.44㎡、病児と病後児を受け入れるので、病児、病後児それぞれの専用部屋と事務室である。新病院敷地内保育所と併設して設計している。

質疑 施設型給付事業の中で、ときつこども園と花園こども園の2園があるが、園児が昨年度より7人減っているのに、事業費は3,700万円増えている理由は。

答弁 施設型給付費も公定価格の影響を受けるので、人件費が増えている。

質疑 多機能型子育て支援拠点施設事業のときめっく利用者数が21,693人だが、前年度比との比較は。また、ファミサポの登録や利用状況への影響は。

答弁 令和5年度の利用者数は22,354人で、微減であるが、ファミサポの会員は388人で前年度比1.2倍、活動件数は令和5年度86件から令和6年度113件へと大幅に増加している。

質疑 衛生費の新型コロナワクチン接種事業だが、接種率などの状況は。

答弁 65才以上の方に1回接種が対象だが、接種率は14.1%で見込みより少なかった。

質疑 し尿収集事業で合併浄化槽の設置が進んでいるのに前年より増えている理由は。

答弁 バキュームカーを1台更新しているため経費が1千万円ほど増えている。

質疑 ごみ処理費について、人口も減ってきてごみも減ってきたと思うが、一般廃棄物の直接搬入が増えた要因は。

答弁 大規模火災が発生したなどの災害廃棄物の搬入が増えたためである。

質疑 火災のごみは一般廃棄物になるのか。産業廃棄物の不燃ごみも494%に増えているが。

答弁 法律上、火災等の災害廃棄物に関して一般廃棄物の扱いとなる。産業廃棄物については公共施設の造成にかかわるものも含めている。

質疑 教育費のきめ細やかな学校支援事業について、昨年度と比べると580万円ほど減額されているがその理由は。

答弁 学校支援員が雇用できなかったことによる減である。

質疑 10月に開所した教育支援センターいこっとの効果は。

答弁 専任の専門家を配置し、相談内容を整理して関係機関に連携を図り支援を行うことで利用者数、相談件数ともに増加し、安心して相談できる機関となっている。

質疑 学校看護師の配置についての詳細は。

答弁 令和4年度から医療的ケア児のガイドラインを作成しており、3名の児童に対して医療的支援を行った。

質疑 部活動地域移行事業について、登録クラブ数と補助金の状況は。

答弁 37団体の地域クラブが登録され、275万2,800円を28団体に10万2,120円ずつ交付し、その内訳は指導者報酬、活動費、備品購入費である。

質疑 電子図書館の利用状況は。

答弁 コンテンツ数が前年度比7.7%増加し、貸し出し数も7.5%増加しており、順調に伸びている状況である。

質疑 移動図書館の運行、運営状況は。

答弁 隔週で公民館等のステーションを回っており、また、土曜日に地域のボランティアと連携し読み聞かせ会を実施している。



土岐市教育支援センター「IKOT・いこっと」



移動図書館

議第66号 令和6年度土岐市国民健康保険特別会計決算の認定

質疑 1人あたりの保険料の前年度比の推移は。

答弁 8月の本算定時の調定額で、令和5年度は9万7,500円、令和6年度が10万3,439円で前年比の6%の増額となっている。

質疑 国民健康保険基金積立金について、計画通りか。

答弁 当初の予算通り取り崩しと繰り入れをしており、余剰金をさらに積立している。

議第68号 令和6年度土岐市介護保険特別会計決算の認定

質疑 令和6年度は保険料改定し保険料を下げたので、取り崩しを多めにするということだったが実際にはそれほど基金が減っていないので、保険料設定をもう少し下げられたのではないのか。

答弁 介護給付費は前年比2%程度増えているが想定範囲内であって、今回設定した保険料で十分まかないきれぬため保険料設定は適正に設定できていると考えている。

議第72号 令和6年度土岐市病院事業会計決算の認定

- 質疑** 入院患者、外来患者共に減少しているが、減少した理由は。
- 答弁** コロナ禍で減った患者が回復できていない状態が続いているということと、病院自体の整理をしながら新病院の開院に向けているところもあるかと思う。
- 質疑** 正規、非正規の医師、看護師の確保の状況は。
- 答弁** 常勤医師、看護師は微増であり、非常勤医師、看護師はほぼ変わらない状況である。
- 質疑** 駄知診療所の患者数が23.2%減少しているが、その分析は。
- 答弁** 定期的に通っている患者について、状況を見ながら別の病院に紹介をさせていただいているためと思われる。
- 質疑** 営業について、当年度純損失1億4,300万だが、損失が大きく出た大きな理由の分析は。
- 答弁** コロナ禍では患者は減少したが国の交付金などもありある程度保っていたが、コロナ交付金がなくなり通常の状態になり、患者自体が減少しているため収支としては厳しい状況となったと思われる。

委員会報告（総務常任委員会）

議第64号 字の区域の変更

- 質疑** 地元説明などは無かったか。
- 答弁** 地元で検討委員会を立ち上げてアンケート調査をした結果、妻木町のままで字の変更を行うというご意見が多数派であったことを踏まえて、字界を今回整備した道路に合わせて変更する。

議第65号 令和6年度土岐市一般会計決算の認定 所管部分

- 質疑** 総務費の情報公開・個人情報保護審査会について、令和6年度の件数は。
- 答弁** 令和6年度については情報公開請求が1件あり、審査会は3回開催した。
- 質疑** 公用車管理事業について、公用車の台数と管理の内容は。
- 答弁** 管財課で管理している集中管理車については15台であり、管理、車検、修繕、燃料費等にかかる経費は417万5千円である。
- 質疑** 駅周辺街づくり基本構想の内容、実績は。
- 答弁** 市民や有識者の意見をもとに、まちなか居住だけではなく駅周辺に必要な要素や取り組みが求められていくのかをまとめたものが基本構想である。
- 質疑** ふるさと応援寄附金について返礼品に使った金額と中間業者に使った金額は。その差引が土岐市の収入となるか。
- 答弁** 返礼品代として、1億7,681万453円。ポータルサイトの委託料が5,155万7,798円となるが、あくまでも寄付額に対して募集にかけられる経費は5割以下というルールがある。
- 質疑** 市制70周年記念事業で補助金を交付した市民団体4件の具体的な団体名と活動内容は。
- 答弁** 土岐高山戦国武将隊、美濃焼おかみ塾、土岐ロータリークラブ、土岐アマチュア無線有志の会の4件で、70周年を祝うイベント、催しを行って頂いている。
- 質疑** 安全監視委員会費について、令和4年度に重水素実験が終わっているが委員会はいつまで続けるのか。
- 答弁** 重水素実験はしていないが装置自体はあり、地元の安心安全が大切であり、地元協議会も活動を続けているため、今後の活動は地元と一緒に考えていきたい。
- 質疑** 農林水産業費の森林経営関係事業の危険木伐採事業費補助金の令和6年度見込みと実績は。
- 答弁** 当初予算は1件50万円程度で10件を想定していたが、実績としては14件処理した。

- 質疑** 商工費の美濃焼のブランド力向上事業で動画を作ったとあるが、動画再生数は938回で美濃焼事業のブランド力を上げるのにつながったとしているのか。
- 答弁** 昨年度末に完成しているので、これから積極的な活用をしていきたい。
- 質疑** 土岐市販売戦略等チャレンジ協議会負担金や、美濃焼 PR 委員会など販路開拓への補助金額は適正と考えているか。
- 答弁** 補助金の実績報告等を確認し、適正であると認め支出している。
- 質疑** 陶磁器試験場費の技術相談・支援業務の中で、一般技術相談・指導が363件、依頼業務の実施が7,230件あるが、相談の内容と効果は。
- 答弁** 相談の内容は焼きあがった製品の破損、不具合の原因解析などであり、それを踏まえての依頼業務を受ける場合もあるので効果はあると考えている。
- 質疑** 泉北部リクリエーションゾーン整備事業(線越)で設計業務など減額したということだったが、その詳細は。
- 答弁** 令和5年度の設計業務の当初契約は5,060万円を1,876万6千円に変更契約し、差額は不用額として剰余金で処理している。
- 質疑** 土木費の笠神公園施設改修工事の内容と効果は。
- 答弁** 長寿命化計画に基づく改修工事で国庫補助を受けてブランコと鉄棒を更新した。
- 質疑** 消防費の消防活動事業について、5年度より444万6千円増えた理由は。
- 答弁** 自動心臓マッサージシステム、救命索発射銃を購入している。
- 質疑** 教育費の文化財保存活用拠点(仮称)整備事業に旧肥田小学校附属幼稚園整備工事とあるが、科目と内容は正しいか。
- 答弁** 美濃陶磁歴史館の建て替えに伴い、収蔵品を一時的に仮保管するために幼稚園から倉庫への用途変更するための工事であるため、文化財保存活用拠点(仮称)整備事業で支出している。
- 質疑** 美濃陶磁歴史館費の講座、ワークショップ、歴史民俗資料等展示業務委託等実績についてどのように評価しているのか。
- 答弁** 定員に対してほぼ満員であったり定員以上の申し込みをしていただいたりで大変盛況であったという認識で、今後も満員の際は定員を増やすなど対応したい。



議第73号 令和6年度土岐市水道事業会計決算の認定

- 質疑** 営業損失の原因は。
- 答弁** 有収率の低下によるものと思われる。
- 質疑** 有収率の悪化の解消は。
- 答弁** 年々改修はしているが、管を一律に更新するのではなく部分的に補修しているので追いつかない。今後検討していきたい。

議第74号 令和6年度土岐市下水道事業会計決算の認定

- 質疑** 剰余金が前年度の約11倍の利益が出ているがその理由は。
- 答弁** 浄化センターの機器更新について、分解整備を予定していたが、機材の延命措置ができることが判明したため除却処分の量を減らし、利益が上がった。
- 質疑** マンホールトイレの設置について、令和6年度何基設置され、震災時に下水管や処理場が被害を受けた時に使えるか。
- 答弁** 2校14基を設置し、直下型地震で全く下水が使えない日から3日間、タンク状のものに貯めてしのぐ。